	専門分野			ディプロマ・ポ リシー(DP)	DP4 DP5			
科目名	地域・在宅看護論 地域・在宅多職種連携			担当教員		外部講師 専任教員		
	2年			単位数	1	時間数	3 0	
11×11×11	1. 病気や障がいを抱え生きていく人を支えあう様々な職種の専門性が解る						3 3	
授業目標	<ol> <li>保健・医療・福祉の専門職者が協働するプロセスが解る。</li> <li>チーム医療及び、多職種連携における看護師の役割が解る。</li> <li>対象の健康と暮らしを支える多職種連携と協働の意義が解る。</li> </ol>							
	4. 対象の健康と春らしを支える多地性建携と励働の息義が胜る。 学習内容					方法	担当教員	
Ц	1) 事例課題導入「対象の健康と暮らしを支えるパートナー」					73144		
1	(1) 高齢者「入院中:在宅に戻るための退院支援。 誤嚥性肺炎の繰り返しを減らすには」 (2) 成人「地域在住:癌治療における通院治療と社会生活」 (3) 成人「精神科入院中:繰り返す入退院を減らすには」 (4) 小児「地域在住:経管栄養をしながら暮らす幼児を 小学校に行かせたいと願う家族に応えるには」 2) 保健・医療・福祉チームの各職種の理解 3) 看護職の専門性と役割 パートナーシップとチーム医療					講義	専任教員	
2	4) 管理栄養士の役割と連携・協働の実際					講義・演習	- 外部講師 - 外部講師 -	
3	5) 歯科医師・歯科衛生士の役割と連携・協働の実際					講義・演習		
4	6) 言語療法士の役割と連携・協働の実際					講義・演習		
5	7)放射線技師の役割と連携・協働の実際					講義・演習		
6	8) 薬剤師の役割と連携・協働の実際					講義・演習		
7	9) 社会福祉士の役割と連携・協働の実際					講義・演習		
8	10) 精神保健福祉士の役割と連携・協働の実際					講義・演習		
9	11) 介護福祉士の役割と連携・協働の実際					講義・演習		
10	12) P/ F課題「対象の健康と暮らしを支えるパートナー」 (1) 事例課題 (1) ~ (4) まとめ					演習	- 専任教員	
11 • 12	13) 専門職連携教育 (1) 導入・学習 (食事指導)					講義		
13 • 14	<ul><li>(2) 専門職連携の実際</li><li>長崎国際大学/健康管理学部健康栄養学科と共同学習</li><li>(3) グループワーク・学びの共有・レポート</li></ul>					演習	外部講師 専任教員	
15	(4) 多職種連携・協働の意義と看護職の専門性(管理栄養士と共同)					演習		
評価規準 評価方法	事例課題・レオ	ペート・筆記試験	験 100点					
テキスト および 参考文献								
履修上の注 意点								